



7月4日車いすを楽しむ会の総会が行われました。企画の部において、自分の夢を実現させるまでの過程や、自身の生活状況の変化や心の変化をお話させて頂きました。この企画が決まったのは春頃でした。人前で話をする事が苦手な僕が発表をするなんて!!と焦りました。

18歳でバイク事故に遭い、車いすと共に生活を送る人生になりました。事故後辛い時間もありましたが、その後は周囲の方の支えもありスポーツや就職など、たくさんの経験をさせて頂いて、今の僕があります。事故前10代の頃と今の自分と何が違うのかという比較は難しく、どうしたら皆さんに伝えられるのかと、何から準備していったら良いのかと悩みました。自分では時を重ねている割に変化を感じていなかったのです。

いざ、始めてみると、過去の事、自分の夢を実現できた過程を改めて振り返ることができ、悩んだ分楽しく進めることができました。障害

をもつての自立や結婚というのは、これまでの生活が変わり、新生活に飛び込むチャレンジが必要だと思います。出会ってきた方々に恵まれた私はラッキーだったと思います。お手本にできる方が多く、生活の知恵を教えてくださいました。結婚もでき、自分の理想とする「我が家」を建てる事が出来ました。

建築希望条件

- ・トイレは二か所
- ・動線1(寝室・風呂・トイレ)
- ・動線2(車・スロープ・玄関)
- ・コンセントの位置
- ・お風呂の大きさ
- ・小上がりの和室
- ・車いすを乗換えるためのベンチ
- ・車いすの人が住んでいると感じさせない外観
- ・廊下広め
- ・ウッドデッキ
- ・スイッチの位置
- ・玄関スロープ
- ・作業スペース
- ・扉は引き戸



私が家作りで大事にしたのは、まずは土地探しからでした。異常気象の多い昨今、ハザードマップを見たり川の氾濫がないか歴史から調べてみたり、近くに公共交通機関、買物する場所はあるかなど、年老いても生活しやすいかを基準に探していきました。建物の方は車いすで生活するうえで段差ゼロの家にしました。あとはトイレを二箇所、浴室や廊下は広めに、生活動線が効率よくるように配置を考えました。幾つものこだわりの詰まった我が家なので、これをどのような形にしたら皆さんに伝えるかを考えている時に動画撮影のお話を頂き、外観から室内など家全体を工夫し

て撮影編集して頂き、よりわかりやすく伝えることができ嬉しかったです。ありがとうございました。

発表会というのは本当に緊張しました。家で原稿を何度も読み返しシミュレーションをしていきましたが、やはり内容が飛んでしまったり詰まったりすることが何度かありましたが、隣で進行をしていただいた宮副さんに助けられながら話を進めることができました。

終わってから、家の内装や間取りスロープの勾配などいろいろ感想や質問を頂き、僕の話が家作りの参考になったら嬉しいです。

「自分はどう生きたいか、暮らしたか『普通の夢』を実現させるバリアフリーな生き方」人生の半分以上を車いすと共に生活しているのでこれが「普通」で、「当たり前」なのです。でも、正直な所は安心し、ホッとしています。健常者と同じように、結婚をして家を建てる事が出来ました。

ずっと心配をかけてきた両親を少しは安心させる事が出来ていれば嬉しいです。良い事悪い事いろいろあると思いますが、何事にもチャレンジ精神を忘れず、人と人との出会い、つながりを大切に、より良い車いす人生を送っていこうと思います。

この発表の機会を与えていただきありがとうございました。新しく出来た大きな箱「僕の家」にこれからたくさん思い出を詰め込んでいきたいです。

(文責・牧野泰明)

事務局だより

入会のご案内

年会費 1,500円

表記について

「車いすを楽しむ会」では、皆様にお配りする印刷物では「車いす」と「障がい(者)」で表記を統一しております。ご理解ご了承いただきますようお願い致します。

「車いすを楽しむ会」では、随時会員を募集しています。会の趣旨にご賛同いただける方であれば、障がいの有無、程度等関係なく、どなたでも歓迎致します。お申し込み、お問い合わせは下記の連絡先までお願い致します。

各種連絡先

- 〒440-0826 愛知県豊橋市大井町134-1(有) ステップワールド 宮副
- TEL.FAX (0532) 39-3004 ステップワールド宮副まで ● E-mail・info@coolmice55.net

掲載中の文章・写真の無断転載を一切禁じます。規約上事務局は会長宅となっておりますが、事務処理の都合上連絡先をステップワールドとさせて頂いております。

ごあいさつ「車いすを楽しむ会」会長 鈴木 より子

このコロナ禍でも月日は流れてゆきます。蝉の元気な鳴き声から、鈴虫の声へ。季節は移り変わります。早く人々が交差する世の中になって欲しいです。

総会では牧野邸の紹介、感動!とても強い意志を感じました。自分がどのように生きたいか、暮らしたいか、全ての想いがこもった住居。新しい物を一から造るには1ミリも妥協したくない。牧野さんの人柄とパワーに設計士、建築家は彼の意志を感じ取り素晴らしい家が完成したのだと思います。

吉川さんのホノルルオンラインマラソンの挑戦。愛知県肢体不自由

児者からの表彰。彼の精神力のたくましさを感じ、そして見るからに恰好良くなりましたね。もう、若者が活躍している姿を母親のような気持ちで応援したくなります。

7月には磯辺小学校へ講演に宮副さんと一緒に行きました。「車いすを楽しむ会」という”楽しむ”にとっても反応が起き、『楽しむ!?大変じゃないの!?』と、彼らの素直な子供らしい反応にとってもワクワクしました。質問の中で買い物した後、荷物をどのように運びますか?と聞かれました。現実的だ!と思い、まず膝の上。それでも多すぎるときは車いすの下の秘密のネットの上に、

と答え、実際に見て頂きました。8月BBQ久しぶりに皆と出会い、暑すぎず心地良い風が吹きとても穏やかな時間が流れていました。人って得意な事、苦手なことがありますよね。苦手な事は工夫して皆に助けてもらって生きています。完璧な人はいません。そのたびに出会いがあり会話がうまれ優しさにふれ嬉しいです。障がいを持った人が生きやすくなれば、みーんな生きやすい世の中になると思います。皆さんとお会いできる日を心待ちにしています。

豊橋市磯辺小学校福祉教室 2021年7月12日

2021年7月12日、より子会長と共に豊橋市立磯部小学校5年生の生徒さんたちの福祉教室を担当させて頂きました。

児童たちは、事前に車いす体験をしており、「自分たちにどんな事ができるか」ということをテーマに考えているようで、車いすでの生活の話をしてほしいとの依頼でした。

最初に司会の先生が「車いすを楽しむ会」と紹介して下さると、何人かの生徒が思わずといった感じで、「車いすを楽しむ?え?楽しむって?」と無邪気で素直な発言に私たちも思わずクスリ。少し緊張がほぐれてお話ができました。まず、より子会長が車いすでの日常生活について話しました。そして困ることの一つに、スーパーマーケットで棚の上のほうのものが取れず、誰かにお願いするには、最初はとっても勇気がいったこと。だから「何かお手伝いすることはありますか?」と聞かれたときにはとてもうれしかったこと。障がい者用駐車スペースや障



がい者用トイレが空いていないと困ることを話しました。その後私宮副が、車いす利用者の車の乗降時の動画や、トイレ使用時の乗り移りの動画を見てもらいながら、なぜども広いスペースが必要なのかをお話しました。それから当会の活動について、車いす利用者だけが参加する会ではなく車いすでの生活に関心のある人が一緒に考えたり工夫をしたり、チャレンジをしている会であることを伝え、改造された車でどこへでも出かけることが出来、いろいろな趣味やお仕事もしていることなどを紹介しました。

子供たちは動画やスライドを真剣に見ていましたし、実際により子会長の車いすの縦幅や横幅もみて理解してくれたようでした。後日届いた多くの子供たちの感想文には車いすの人を見かけたら、声をかけたいと書いてありました。実際に声をかけるとなるとなかなか難しいとは思いますが、福祉教室のような機会をいただく中で障がい者駐車スペースや障がい者トイレの問題も、免許を取得する前の子供の時に実際に身近に感じて知ってもらうことで、よりリアルに困る人たちがいることを、知って頂けるのではないかと思います。(文責・宮副幸子)

たのしいBBQパーティ

2021年8月1日 新城サイクリングターミナル 風巻苑



レポート 田中健次さん

皆さん、こんにちは(^_^)
 今回は、2021年8月1日 新城市的
 「新城サイクリングターミナル 風巻苑」で行われました、毎年恒例の「夏のBBQパーティー」についてレポートいたします。
 私自身も毎年楽しみにしているこのBBQパーティーですが、今年は「新型コロナウイルス」の影響により、開催されるか心配でしたが、関係者の皆さんの対策により、無事開催されました。改めてお礼申し上げます。ありがとうございます。
 さて、当日ですが天気予報では雨が降るかもと・・・、ちょっぴり不安でしたが、皆さんの日頃の行いが良かったのでしょうか？ 爽やかな風吹く良い天気となりました！
 風巻苑さんは、豊川の上流のほとりにあるBBQ場で、家族連れの方にも人気のスポットです。川で水遊びも出来ますよ！こんな最高の環境の中、大きな鉄板が3枚、参加メンバーが思い思いのグループに分散し、いよいよBBQスタートです。

早速、あちらこちらから、飲み物の栓を開ける音が聞こえてきます。皆さん、にっこにこです！今か今かとお肉が焼けるのを待っています…。マスクをしても、お肉を狙う皆さんの目が怖いです！（笑）私とはというと、もちろん鉄板奉行です！風巻苑さんで用意して頂いた食材を次から次へと焼いていきます・・・。
 私のグループは、比較的若いメンバーでしたので、次から次へとお肉が消えていきます！「野菜も食べてっ！！」（心の叫び）どのグループからも「美味しい！」「最高！」「もっと、食べたい！」と聞こえてきます。実は、風巻苑さん・・・、お肉だけでなく、海老・帆立などの魚介類も食材として用意されておりました。さらに、私個人的にお勧めなのが、お・に・ぎ・り！とっても大きくて美味しい！食べ応えありですよ！（一人前で、結構お腹いっぱいになります）
 そして、お腹が満たされると始まるのが・・・、おしゃべりタイム！参加者の皆さん、久しぶりに顔を合

わせたとあって、近況報告に華が咲きます。コロナ対策をしながらでも、実際に顔を合わせてコミュニケーションをとるというのは、人間にとって、大切なことなんだと改めて感じました。
 さてパーティーも終盤、締め料理は、『焼きそば』。私の腕の見せ所です（笑）BBQで余った野菜をいため、麺を絡めて、ソースを混ぜる！ う～ん、香ばしい、最高の匂い！どうして、外で食べる焼きそばは、あんなに美味しいのでしょうか？グループの皆さんからお褒めの言葉をいただき、心の中では、ドヤ顔でした！
 このように、お腹も、心も満たされ、参加された誰もが大満足の内にと終わることが出来ました！
 ただ、来年こそは、新型コロナウイルスも収まり、人と人との距離感を気にすることなく、もっと盛り上がるといういなと思いました。
 皆さん、来年もお会いしましょう！お疲れ様でした！



今年は楽しいBBQが開催出来てよかったです。参加者は27名（うち障がい者6名子供1名）、初参加の、訪問看護センターをしている人、チームステップサポートクラブの人たちなど、車いすでの生活に関心のある人たちが情報交換をする良い機会にもなりました。今回記事を書いてくださった（株）大木家の田中さんは、BBQだけでなくいろんな活動に参加して盛り上げて下さり理事会一同感謝しております。来年もバリアフリーな屋外で楽しくBBQをしたいですね
 （文責・宮副幸子）

車いすを楽しむ会イベントのお知らせ

新型コロナウイルス感染拡大の状況によって、延期/中止の可能性もあります。

楽しい定例会

■日 時/ 2021年10月22日(金曜日)
 午後6時30分～
 ■会 場/ L'AMBRE ランブレ
 豊橋市向山町中畑38 古田ビル1F

楽しい忘年会

■日 時/ 2021年12月19日(日曜日)
 ■集 合/ 未定
 詳細は追ってお知らせします。予定をあけておいてください。



令和2年度定時総会 レポート

2021年7月4日 さくらピア

梅雨のど真ん中の時期にしては雨が降ることなく迎えられた7月4日、令和2年度の定時総会が身障会館(さくらピア)3階の大会議室で、朝9時半から開かれました。例年は午前10時に開会していますが、新型コロナウイルス感染拡大の可能性を考慮し、30分早い開会といたしました。
 冒頭でより子会長がご挨拶され、その中で令和2年度の活動状況について触れられました。春の遠足・バーベキューなど、いつの年も当たり前のように行ってきた楽しいイベントがことごとく中止になったこと、その一方でリモートによる定例会という新しい形の活動ができたこと、折よく行えた忘年会が例年にも増して楽しかった事など、活き活きと語っていただきました。（そのおかげで、私は総会の議題の活動報告をサラッと済ませられて、楽でした(^_^)）



会で初めてのことを行いました。会員の吉川晃弘さんが今年、愛知県肢体不自由児・者父母の会連合会から表彰される予定でしたが、コロナのため連合会が中止となってしまいました。そこで、この車いすを楽しむ会の総会の場を使って、改めて表彰を行うことになりました。写真は、連合会副会長の後藤久代さんから表彰を受ける吉川さんです。表彰後の挨拶では、ホノルルオンラインマラソンに向けてのハードな練習と当日の走り達成感を語りながら、周りのみんなへの感謝を伝えている様子が、とても前向きで印象的でした。

た、バリアフリーな生き方～と題して、牧野副会長が講師として話してくれました。事故で車いす障がい者になってから、手に職をつけ会社勤めを始める一方、ハンドサイクル(手こぎ自転車)などの趣味も楽しみ、昨年ついに念願の自宅を建てたその「生き方」について語ったその講演内容については、ぜひ牧野さん自身の寄稿をお読みください！
 （文責・青木良浩）



総会の部に入り、例年通り
 ・令和2年度の活動報告/決算(案)
 ・令和3年度の活動計画/予算(案)
 について上程し、無事ご承認いただきました。
 休憩の後、今年は楽しむ会の総

毎年恒例の『企画の部』では、『自分はどのように生きていか/暮らしたいか』～「普通の夢」を実現させ